

誰にでもできる奇跡の遠隔セラピー

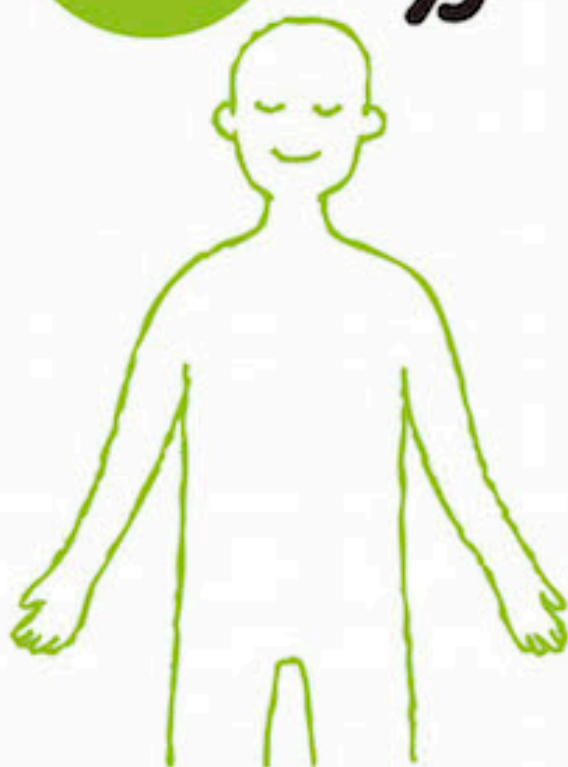
なぜソマチッドと

テラヘルツが

あらゆる病気を

癒やすのか

ヒーリング・
メソッドの
決定版!



櫻井喜美夫
目崎正一

テラヘルツで龍神と共鳴すれば、超意識が目覚める！
魂レベルの覚醒で免疫力を向上させよう。
意思をもつ生命体ソマチッドに語りかけて、
想念エネルギーを増幅させよう。
今から実践できる「遠隔エネルギー療法」。



ヒカルランド

SAMPLE

はじめに

櫻井喜美夫

龍神をテーマとした私の著書『龍神脳の遺伝子がついに Switch On!』をヒカルランドさんから出版していただいてから時が経ち、今回、目崎正一めざきしやういちさんとの出会いによって、遠隔セラピーをテーマにした書籍を共著の形で出させていただくことになりました。

目崎さんは、佐藤清先生さとうきよよしが会長を務められている「羅天清研究会らてんせい」の活動を新潟の地で立ち上げられた方で、特殊な機器を使ったテラヘルツ量子波療法と、フーチを使った遠隔療法を実践、普及されています。

その正式名称は、「フーチー遠隔療法」（一般社団法人てれせらびー）ですが、本文では一般に馴染みやすい呼称として「遠隔セラピー」に統一させていただきます。

私（櫻井）は、これまで世界最強のテラヘルツ鉱石である「キミオライト」を使ったさまざまな製品の開発をはじめ、縁ある人たちの健康トラブルを癒やしたり、各地の未成仏霊を浄霊したり、また龍神たちと共に日本の霊的覚醒かくせいのために働いてきました。

私がこうした活動（裏神業^{うらしんぎょう}）に身を投じるようになったのは、大本^{おおもと}の救世主であり、私の名付け親でもある出口王仁三郎^{でぐちおにさぶろう}聖師との魂の縁によるもので、詳しくは前著をご一読いただければ幸いです。

目崎さんとの出会いは、私がセミナーの講師として招かれたのが最初で、目崎さんの依頼によってキミオライトと古代ソマチッドを使ったシリウスボールを開発することになり、それ以来、同志のような親しい交流を続けさせていただいています。

目崎さんがなさっている遠隔セラピーと、私が行ってきた神業は、その本質においてまったく同じであり、遠隔セラピーの際にもシリウスボールを使っていたいただいています。

とりわけ、目崎さんの素晴らしいところは、テラヘルツ量子波や言霊^{ことたま}を使ったヒーリングによって数多くの奇跡的な治癒をもたらしていると同時に、体内のソマチッドの変化を特殊な顕微鏡によって確認したり、フォーチの習得法などを含めた遠隔セラピーの方法について、初心者の方にもわかりやすい形で伝授されているところだと思います。

というわけで、本書は以下のような構成にしております。

Part 1では、本書で扱う内容の全体像を対談形式でお伝えし、

Part 2では、目崎さんによる遠隔セラピーのエッセンス、
Part 3では、櫻井さんによる遠隔ヒーリングのメカニズムの解説、
Part 4では、目崎さんによる遠隔セラピーの基本テクニックについて、
Part 5では、櫻井式セルフヒーリングの方法について、

資料編では、目崎さんの遠隔セラピーを受けられた方々の体験談を紹介していただきます。

最後までお読みいただければ、遠隔セラピーに秘められた無限の可能性と、誰でもその気になれば「奇跡が起こせる！」ことを、きつとご納得いただけると思います。

本書を通して、二人の実体験から得られた究極の癒やしの技とそのエッセンスについて、読者の皆様にお伝えできるならば、これにまさる喜びはありません。

- 1 はじめに 櫻井喜美夫

Part 1

命の素・ソマチッドを増やす「想念の力」

——誰もが意識の遠隔機能を使っている！

《対談》櫻井喜美夫×目崎正一

- 12 次々に奇跡的な治癒が起きている遠隔セラピー
- 15 誰もが生まれた瞬間から想念・意識の遠隔機能を使っている
- 18 癒やしの念波が相手のアストラル体などに働きかけて癒やしをもたらす
- 20 フーチ判定ができるのは意思を持つ生命体「ソマチッド」が反応しているから!?
- 27 遠隔セラピーの効果を高めるテラヘルツ波と最強の「シリウスボール」は500年放射しつづける!

- 31 血液中のソマチッドがヒーリングによって変化した！
- 33 信頼関係があるほど癒やしの効果が表れやすい
- 35 大学病院で格好のサンプルになるほど驚くべき変化が起きた！
- 38 ソマチッドは細胞の主人として働く——創造神につながる魂の声を聞こう！
- 41 ヒーラーの想念・意識が無条件の愛というフリーエネルギーを呼び込む
- 43 神人合一の超意識がソマチッドをフルに活性化し、奇跡を起こす！

改善率75%の遠隔セラピーとは？

——想念エネルギーが癒やしの効果を倍増させる！

目崎正一

- 48 世界最強のテラヘルツ鉱石「キミオライト」との出合い
- 51 本人のエネルギー×想念エネルギーが奇跡的な治癒をもたらす
- 54 古代ソマチッド×世界最強のテラヘルツ鉱石を融合したシリウスボール
- 58 氣を送っただけでソマチッドが増え、活性化する！
- 61 意識のリモコンを使って自分が見たい番組にチャンネルを切り替えよう

Part 3

- 63 フーチをマスターすると健康面や人生のいろんな場面で役立てられる
- 66 無料だと施術者と依頼者の意識が共振しづらい
- 68 エネルギー体に働きかけるため、霊障にも効果が！

遠隔ヒーリングを起こす意識の力

——無条件の愛が奇跡をもたらす！

櫻井喜美夫

- 76 意識は全細胞の主人である、そして魂が意識の主人である！
- 79 超意識が常識を超えた現象を引き寄せる
- 81 科学的な実験でも証明されている遠隔ヒーリングの効果
- 83 「ラジオニクス」に見られる意識の超物理的な働き
- 85 癒やし効果以外に物質の情報転写もできるラジオニクス
- 89 物にも作り手の意識が転写される
- 92 テラヘルツ波は意識を安定化して魂の情報を引き出す!?
- 96 意識が変われば誰でも奇跡は起こせる！

Part 4

99 無条件の愛——ソマチッドが喜ぶ生き方とは？

102 「悪のお役」が必要なくなる世の立て直しのために

105 人の想いはプラスにもマイナスにも働く

107 邪悪な念は破壊的なエネルギーとなつてわが身に還^{かえ}ってくる

110 無垢な心は魂の望みを引き寄せて「宇宙カプセル」を解読する

112 龍人たちよ、豊かな心を持ち、一隅を照らす光となれ！

115 遠隔セラピー発信基地・新潟県人の気質とは？

エネルギーパワーを高める遠隔セラピーのエッセンス

——利他愛で宇宙無限のエネルギーを取り入れる！

目崎正一

120 あなたの潜在意識は「答え」を知っている！

123 量子波と共鳴する人間の想念——肯定的な意識で器具を使おう

126 利他愛で取り入れた宇宙エネルギーを相手に放射する

129 亡くなった人の感謝のエネルギーも自分に返ってくる

134 宇宙のコスモドラゴンが降り立った場で開かれる1泊2日の合宿

Part 5

肉体と魂を浄化するとしておきの櫻井式ヒーリング
——すべてを受け入れ、許し、感謝する！

櫻井喜美夫

144 潜在意識の歪ゆがみを正す「五色健康法」
152 日本人に響きやすい「六根清浄の大祓おほはらえ」で意識の浄化を
155 生命力を高めるテラヘルツ波を浴びよう
158 「神聖図形」を用いてパワーアップする
161 ついに究極の「ソマチッド米」が完成した！
165 電子はソマチッドの活性化を促す生命エネルギー
168 電子不足（ \parallel 酸化）はソマチッドを遠ざけるので要注意！
171 白砂糖は日本人を家畜化するための餌えづ付けである
173 エゴが介入する隙すきがまったくない、宇宙の中心とつながる「超意識の祈り」
176 龍人たちよ！ 全ソマチッドを総動員して地球全体に奇跡を起こそう

資料編

遠隔セラピーで人生がこんなに変わった！

——喜びの声は今も続く

目崎正一

180 すべての細胞が元気を取り戻せるように……

208 おわりに 目崎正一

213 参考文献

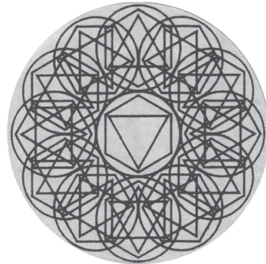
本書は特定の病氣治療をすすめるものではなく、魂の浄化や超意識の覚醒を通じて肉体次元での生活を豊かにすることを主眼にしています。(ヒカルランド編集部記)

カバーデザイン 櫻井浩(©Design)
カバーイラスト 井塚剛
編集協力 小笠原英晃
本文仮名書体 文勇仮名(キャップス)

Part 1

命の素・ソマチッドを
増やす「想念の力」

——誰もが意識の遠隔機能を
使っている！



《対談》 櫻井喜美夫 × 目崎正一

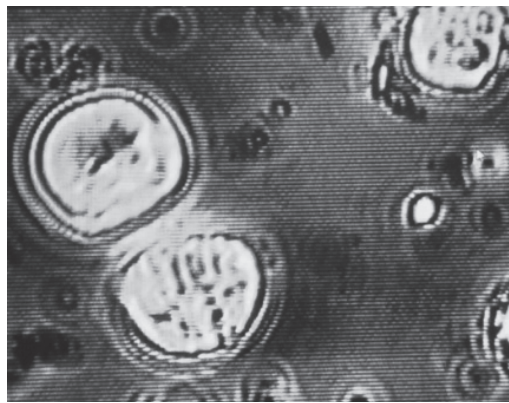
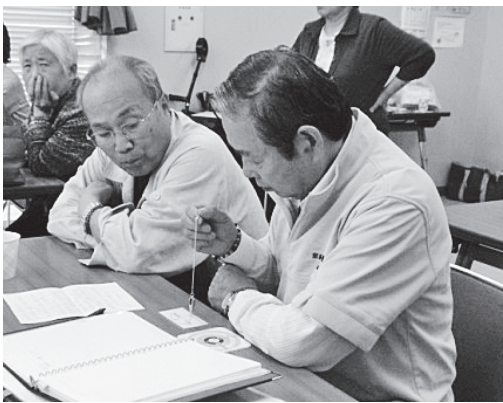
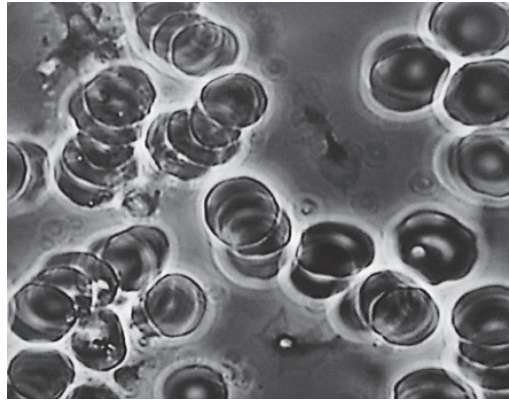
次々に奇跡的な治癒が起きている遠隔セラピー

櫻井 私もこれまでいろんな能力者の方々とお会いしてきましたが、目崎さんがなさっているフーチを使った遠隔セラピーは、誰か特定の人の力におすがりするものでもないし、また実際に驚くべき効果が次々に報告されていることから、この遠隔による癒やしの技を広く一般に普及するお役目があるように感じています。

目崎 ありがとうございます。私どもがやっている遠隔セラピーをしっかりと学んでいただければ、基本的には誰でも遠隔でヒーリングができるようになります。

その結果については、「一般社団法人てれせらびー」のホームページでも開示していますが、病院で見放された人が健康を回復するなど、普通に考えれば奇跡的な治癒が起きています。

遠隔でのヒーリング自体は、一部の気功師の方やヒーラーと呼ばれる人たちもやっていますが、その方法をわかりやすく教えている人はそれほどいません。そこで私どもは、できるだけ短期間にその方法を身につけていただくための講座を設け、「フーチー遠隔療法



左) 目崎氏はフーチセンサーで症状の進展を評価し一切会員の身体に触れることなく、遠隔セラピーのみ行う

右) 位相差顕微鏡で捉えられた血中の様子
丸く大きいのが赤血球で、その50分の1ほど小さいのがソマチッドだという

『超微小知性体ソマチッドの衝撃』（ヒカルランド）より

講座」という名称でパテントを取りました。

櫻井 フーチというのは、振り子やダウジングのことですね。

目崎 はい。フーチはダウジングやキネシオロジーとも共通した筋反射テストと呼ばれるやり方で、その場で質問に対して「イエス」「ノー」が判断できる方法です。

フーチを使うことで、まず相手の身体からだのどこがどのような状態になっているか、そして施術（セラピー）した後に、そこがどのように変化したかなどが自分でチェックできるわけです。

もちろん、パテントを申請する前にフーチで確認したら、「イエス」と反応したので安心していたんですが、実際その通りすんなりパテントがおりました（笑）。

櫻井 フーチをやるときに**一つ注意しなくてはいけないのが、自分の思い込みや潜在意識の願望が入ってしまうことです**が、それを防ぐには、**後頭部の第一頸椎**けいついをブロックしてやることです。これはキネシオロジーの基本です。

目崎 はい、私もでもそのようにしています。まず「初級コース」でフーチの基礎を習得してもらい、「中級コース」ではそれを自在に使って遠隔セラピーができるようになり、さらに「フーチー遠隔療法講座」に進まれた方は、遠隔セラピーを仕事としてやっていた

だきたいとの思いから、3段階のステップを考えて、2016年からスタートしました。

櫻井 ただ知識を得るだけではなくて、本格的にやっていきたい人のために、遠隔セラピーを生業なりわいにすることもできるように、ということですね。

目崎 そうです。ボランティアでやってあげるのももちろんいいのですが、遠隔セラピーについてしっかり学んで、ある程度収入が得られるようになれば、さらにそれを人に教えていける道が開けます。

そうになると、病で苦しんでいる人たちに喜ばれ、感謝されるやりがいのある仕事として独立できますし、そうなれば、遠隔セラピーを身につけたいという方が全国各地に広がっていくと思うんです。

誰もが生まれた瞬間から想念・意識の遠隔機能を使っている

櫻井 遠隔セラピストのプロ養成講座ですね。そこまで行けば、一般の人たちにとっても、遠隔セラピーは特殊なものではなくて、その気さえあれば誰でもできるんだという意識に変わるでしょうね。

そもそも、遠隔セラピーは、靈的治癒などと言われ、特殊な能力者だけができるように思われている向きもありますが、実はそうではなくて、私は、赤ちゃんがお母さんを呼ぶときに泣く姿に意識の遠隔作用の原点を見ることができないのではないかと思っています。

まだ言葉が喋れない赤ちゃんは、お腹が空いたり、おしめが濡れると、それを離れた場所にいるお母さんに知らせるために泣き叫ぶわけですが、それはそのときの感情を声、つまり音波に乗せて伝えていくわけです。

そこでお母さんは、少し離れた場所においても赤ちゃんの泣き声の周波数の違い、微妙な波動の変化を感じ取っているわけで、それこそ意識の遠隔作用と言えるのではないのでしょうか。

もちろん、赤ちゃんの泣き声は、遠隔セラピーではなくて、遠隔による「情報」の伝達ですが……。ようするに、誰もが生まれた瞬間から、想念・意識の遠隔機能を使っているところが、言葉が喋れるようになって、近距離のコミュニケーションができるようになって、よほどのことがない限りその機能を使わなくなる、言わば遠隔機能のスイッチをオフにしているわけです。しかし、例えば、自分の大切な人に何か重大なことが起きたり、

危機が迫っているときなどには、想念の遠隔機能のスイッチがオンになって、自分の思いが瞬時に相手に伝わるのではないかと思えます。

であれば、誰でも意識で遠隔による情報伝達ができるはずで、別の表現をすれば、遠隔ヒーリングはまさに想念・意識の力の働きであり、意識力を高めることによって奇跡的な治癒も起きやすくなるのではないか——それは相手に対する「共感力」や「想いの力」と言ってもいいかもしれませんが。

目崎 なるほど、同感です。

櫻井 ところで、プロの遠隔セラピストの育成まで進むためには、「AIDCAS (アイトカス) の法則」を満たす必要があります、まずは一人でも多くの人に関心を持ってもらうことが大事ですね。

アイトカスの法則とは、消費者が消費を行うまでのプロセス (心理的過程) のモデルで、
Attention (注意) アテンション、Interest (関心) インタレスト、Desire (欲求) デザイア、Conviction (確信) コンビクシオン、Action (行動) アクション、Satisfaction (満足) サティスファクシオン の頭文字を取った略称です。

つまり、まず注意をひき、関心を持ってもらって、欲しいと思わせ、それに確信が得られると、それが消費行動につながり、結果として満足感が得られる。それらがすべて満た

されることが重要で、私が見る限り、目崎さんたちがされている講座はその要素が揃っている、ようは本物だということですよ。

目崎 ありがとうございます。

癒やしの念波が相手のアストラル体などに働きかけて癒やしをもたらす

櫻井 強い関心を持ってもらえば、次にそれをやってみたいという欲求や行動につながるわけですが、関心が持てるかどうかは、例えば、この本を読んでくださっている方々が「自分でもできそうだな」と思えるかどうか、でしょうね。

その点、先ほと言った、感情や意思といった情報を遠隔で伝える赤ちゃんの泣き声は、誰もが経験済みなので理解しやすいのではないのでしょうか。

その想念・意識が発するパワーや情報のことを「念力」や「念波」と言ってもいいかもしれません。

一つのことを真剣に想い続けているとそこに強いエネルギーが発生する、つまり念力になって、遠隔機能にスイッチが入り、物理的な距離に関わりなく作用するのだと思います。

そこで大事なものは、どのような念を込めるかです。私もエネルギーアイテムを製作するときなどに念を込めますが、たぶん、念波の周波数が高ければ高いほど、レーザー光線のようにコヒーレントな波長が揃った状態になって共鳴度が高まり、地球の裏側までも伝わるのでしょね。

目崎 確かにそのように考えれば、私どもの講座を受講した方が私と同じような結果が出るようになるのも納得できます。

櫻井 それともう一つ、目崎さんたちの遠隔セラピーによるいろんな成果を見て感じるのには、遠隔セラピーを行う人の癒やしの念波が、相手のアストラル体やエーテル体に働きかけているんじゃないかということです。

つまり、オーラやチャクラを活性化して、その結果、自然治癒力が高まって不調をもたらしている原因や精神的なアンバランスも修正されていく……そんなふうに感じます。

目崎 そうかもしれませんね。ただ私の場合は、仮説や理論よりも、現実に起きていることを数値化するのが大事かなと思っています。

遠隔セラピーをやる前とやった後で、何がどう変わったかを検査数値や血液の状態を顕微鏡で確認する。そうすれば明らかに変化があることがわかるし、実際にそれで良くなっ

ているわけなので。

この遠隔セラピーに辿り着くまでは、テラヘルツ量子波だけを使っていたんですが、テラヘルツ波は素晴らしいけれど、遠隔セラピーには使えないのですから。私どもの経験ではテラヘルツ波が効果を及ぼすのはせいぜい5メートルほどで、施術者自身のエネルギーパワーによっても差が出ます。

櫻井 テラヘルツ波は生命力を高める周波数ですが、確かに人間の場合は遥か彼方の遠距離にまで影響を及ぼすものではありません。

目崎 そこで、私はこのテラヘルツ波を「氣」と呼ばれている量子波に乗せればいいんじゃないかと考えたわけです。量子波であれば距離に関係なく伝わり、地球のどこにいても物理的な制約は受けませんからね。

フーチ判定ができるのは意思を持つ生命体「ソマチッド」が反応しているから!?

目崎 これは、人工衛星を考えるとわかりやすいと思います。人工衛星は、地上から電気信号（電波）を送って操作しているわけですが、衛星放送はこの人工衛星を利用して、

通信衛星や放送衛星は、赤道上の3万6000キロの高さに打ち上げられ、地球の自転速度と同じ速さで回っています。

そのどちらにしても、家庭用の小さなアンテナとチューナーで簡単に受信できるために、衛星放送が見られるわけです。

これは電波による送受信ですが、人が発する氣のような量子波ならもっと精妙な情報の送受信ができるのではないかと考えて、まず、研究会の仲間の息子さんに遠隔で施術（セラピー）を試してみたんです。その男性はニューヨークに住んでいて蓄膿症ちくのうしょうとインフルエンザで寝込んでいるというので、氣を送ってみたら、快方に向かったんです。

櫻井 その人が発する氣というのが、念力、念波と考えていい。

目崎 そうですね。羅天清研究会の会長の佐藤清先生は、それをテラヘルツの発振器（プラナヒーター）を使ってやられています。それでも良くなる人はたくさんいるんですが、ところが、時としてその機器を使って別の人がやってもうまくいかない場合がたまにあるんです。

これはやはり、本人が持っている氣、エネルギーパワーの違いなのではないか……。そこで私は、本人が持っているエネルギーパワーを、フーチを使って数値化してみたんです。

この人間が持っているエネルギーパワーは、10の1000乗キロワットとか、さらに大きい人では無限大のレベルになるので、とても機械では測れません。

そして、フーチを使っているのは、質問をすることによって、私の中のソマチッドと相手の中のソマチッドが交信しあっているんじゃないか、ということですよ。言わば、ソマチッドレベルの情報交換ですね。

質問を声に出さなくても、頭で思っただけでもフーチはちゃんと反応します。ということは、一人でやる場合にはその人自身のソマチッドが反応している。そして、質問者と対象者が別人であれば、双方のソマチッド同士が交信することで、フーチがイエス・ノーと反応している、そう考えれば納得がいきます。

櫻井 ソマチッドについては、本書の読者の方ならご存じの方も多いと思いますが、現代ではガストン・ネサン氏が自製の顕微鏡で発見した、意思を持つ最小の生命体のことですね。

目崎 そうです。ソマチッドとは意思を持った超微小生命体のことで、私どもではネサン氏の顕微鏡と同レベルの顕微鏡を使って、遠隔セラピーによるソマチッドの変化を確認しています。この顕微鏡は大手メーカーでは作れないそうで、日本の職人さんたちの合作だ

そうですが。

そこでわかったのは、ソマチッドは意思を持っているので、やはり意思を持った波動である量子波とのコラボによって身体の不調を緩和しているのではないか、ということなのです。

もちろん、そのソマチッドの状態は、100人いれば100人とも違っていきます。

遺伝子でもすべて同じ人はいないように、遺伝子より小さいソマチッドも皆違うので、まずそれを認めることからスタートする必要があるのではないのでしょうか。

ですから、たとえ意見が違っても**相手を認め、許し、見返りを求めず、最終的には無償の愛だけで接する……。**

櫻井 その無償の愛が純度の高い念波となって量子的な働きをする。その結果、奇跡的な治癒が起きる、ということでしょうね。だから私も、家族など身近な人たちに私がいる前で人の悪口は一切言わないようによく言っています。

ちなみに、ソマチッドに関して言うと、サウンド療法の第一人者である増川いづみさんは、ソマチッドと言うとこれまで研究者たちが迫害されてきたことから、「超微小生命体」と呼び、『超微小生命体ソマチットと周波数』（ヒカルランド）の中で次のように述べています。

例えば、微小生命体は怒っている人とか、いつもカッカしている人、いつも悲しみに暮れている人の体は嫌いで、逃げます。

それもその人が出す感情という周波数なのですよね。

楽しい気持ちでいると、その人の血液中に微小生命体は輝いている。微小生命体も元気なときは白く光っています。

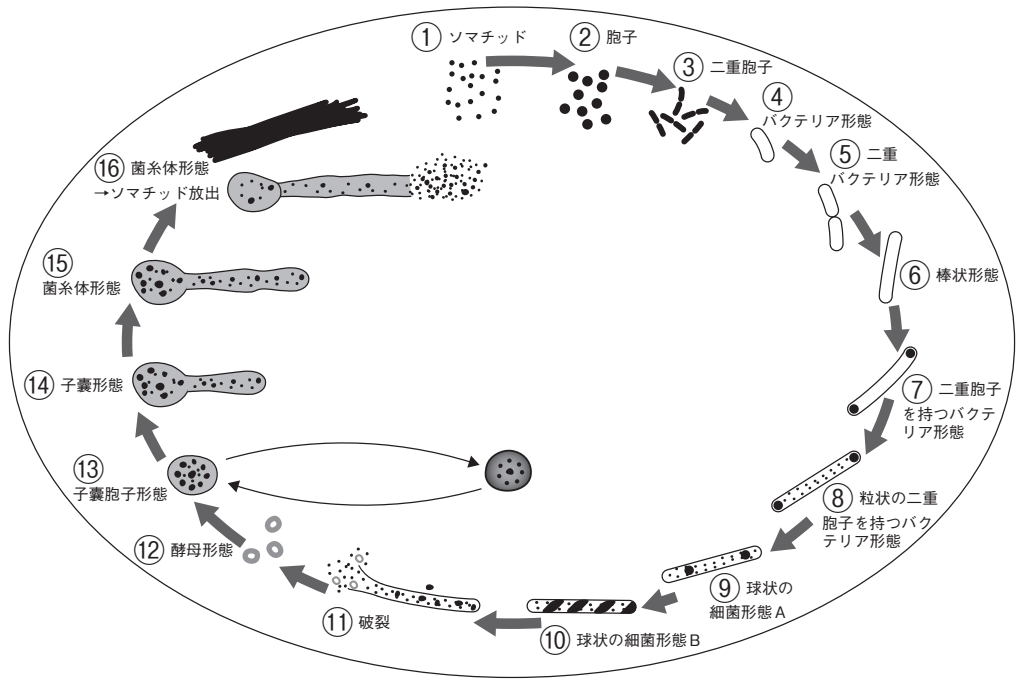
元気じゃない人の微小生命体は光っていません。いるけれど、黒く動いているけれど、ピカッと光らない。

楽しい気持ちでいる人、あるいはすごくフレッシュな野菜からたっぷり酵素をとっている人の微小生命体は、ピカピカッと光っています。

これはすごい違いです。やっぱり最後は光っています。本当に元気な人の微小生命体は光っています。

すごく明るい周波数を持って明るいオーラを持っていると、それがわかるわけです。微小生命体の体を感じるのですね。

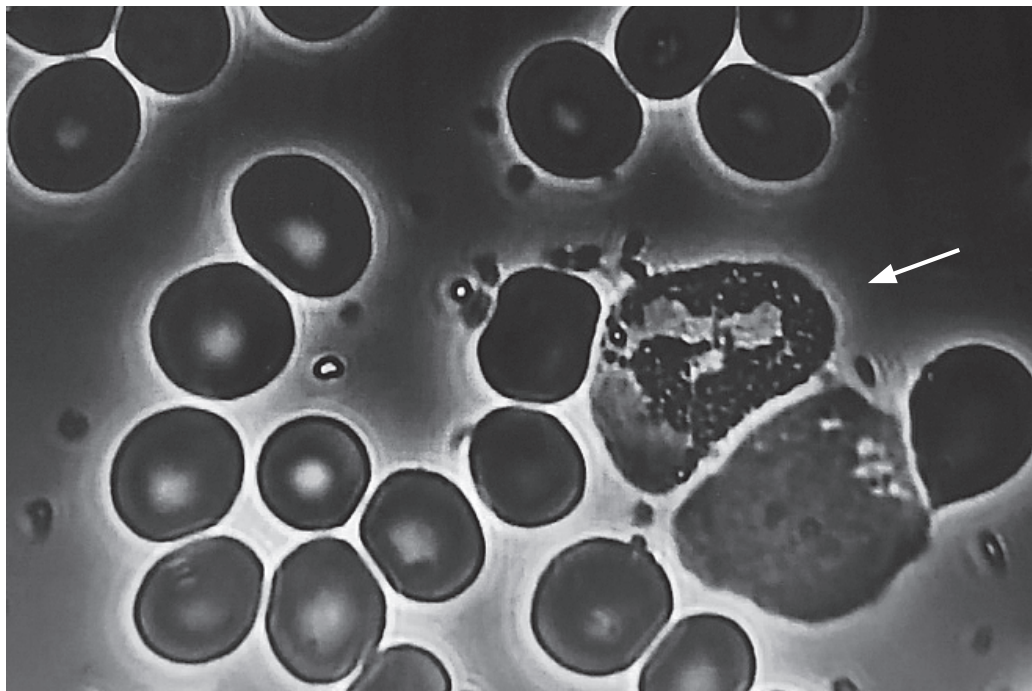
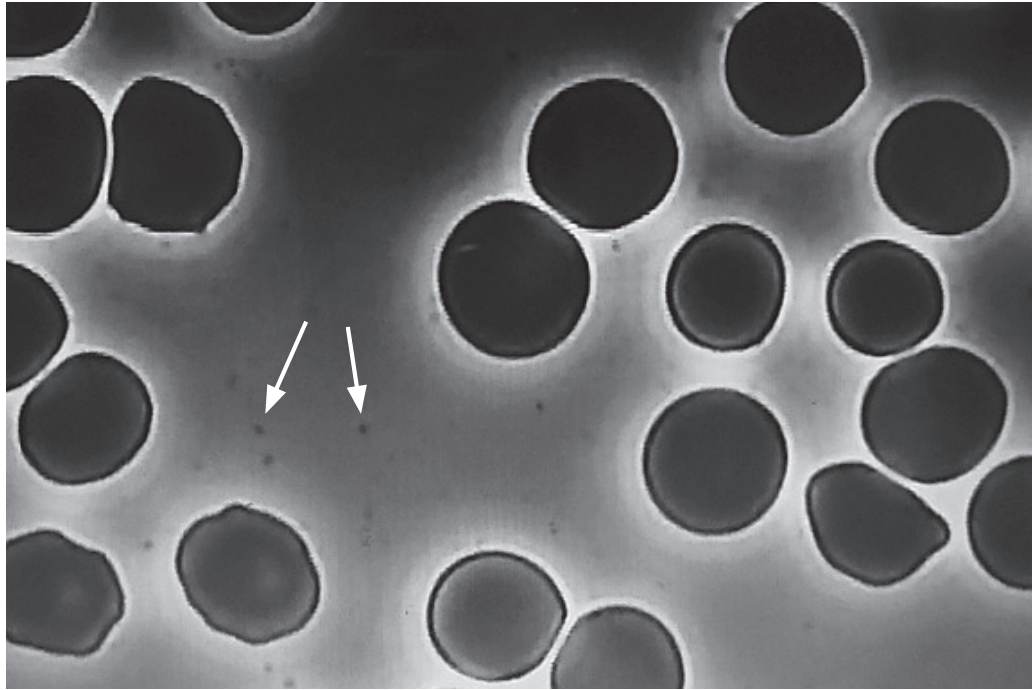
微小生命体は超能力者で、超感覚能力を備えています。要するに感性がいいわけで



ソマチッドサイクル (変化の16段階)

- | | |
|--------------------|----------------|
| ①ソマチッド | ⑨球状の細菌形態 A |
| ②胞子 | ⑩球状の細菌形態 B |
| ③二重胞子 | ⑪破裂 |
| ④バクテリア形態 | ⑫酵母形態 |
| ⑤二重バクテリア形態 | ⑬子嚢胞子形態 |
| ⑥棒状形態 | ⑭子嚢形態 |
| ⑦二重胞子を持つバクテリア形態 | ⑮菌糸体形態 |
| ⑧粒状の二重胞子を持つバクテリア形態 | ⑯菌糸体形態→ソマチッド放出 |

『ソマチッドと714Xの真実』(ECOクリエイティブ)より



- ①【上】健康人は赤血球がまん丸でソマチッドが蠢動（しゅんどう）
- ②【下】ソマチッドに異常が見られ、がん細胞（右下）にソマチッドが集中

『超微小知性体ソマチッドの衝撃』より

す。

つまらないことばかり考えている人は、暗くて脳から出る周波数が悪いわけです。

そうすると殻をかぶってしまおう。もうこの人のところにいたくないと、尿とか排泄物から出てしまいます。

遠隔セラピーの効果を高めるテラヘルツ波と最強の「シリウスボール」は500年放射しつづける！

櫻井 このように、超微小生命体ソマチッドは、私たちの心の状態や体内環境がポジティブな状態を好むようですね。

ところで、読者の皆さんのために、目崎さんが遠隔セラピーを人に教えられるようになった経緯についてお話しただけですか。

目崎 私がフーチを使った遠隔セラピーのやり方を人に教えられるようになったのは、それまで出会ったいろんな先生方の良いところだけを吸収させてもらったからです。

中でも、櫻井先生のテラヘルツ鉱石・キミオライトに出会ったことがとても大きかったです。

キミオライトのすごさを証明された新納清憲先生しんのうきよのりにお会いした後で、佐藤清先生のテラヘルツ発振器であるプラナヒーターに出合い、そこで氣経絡を学び、それを使って体調が悪い人を癒やす仕事をするようになりました。

そんな中で、もっとパワーのある物はないか？ と考えるようになり、櫻井先生に相談したことで、「テラシート」や「シリウスボール」の開発につながっていったんですね。

櫻井 そうでしたね。私が持っていた鉱石を新納さんに調べていただいたら、テラヘルツ波の放射量がすべてトップテンに入ってしまったんですね。例えば、それらはダイヤモンドの原石で、それをさらに研磨して最強の製品にしてくれたのが新納さんです。

キミオライトは宇宙からもたらされた癒やしの石で、半永久的にテラヘルツ波を放射しています。なので、私自身、この原石との出会いにとっても感謝しています。

おもしろいのは、この「救世石」ともいえるキミオライトには、今の世の中を何とか良くしたいという人が引き寄せられるようで、目崎さんもそのお一人だったわけです。「石は人を見る」ということです。

そして、多くの人からご好評いただいている「シリウスボール」は、もともと目崎さんからのご要望を受けてつくったもので、北海道の八雲町やくもちょうの風化貝に入っている古代ソマ



櫻井氏が開発したキミオライトを含有するセラミックである「シリウスボール」

チッドを多量に入れていきます。

これはネサン氏が発見したソマチッドとは少し違って、太古の昔、地殻変動で海底が地上に隆起して以来、実に2500万年もの間貝殻の中に休眠していたと考えられる古代ソマチッドです。

その古代ソマチッドが入ったシリウスボールを、遠隔セラピーをやるときに両手に持って使っていたいているわけですが、テラヘルツ波やソマチッドを使った製品の価値を本当に理解してくださったのは目崎さんです。

しかし、今だから正直に言うと、以前は自分の石を超えるテラヘルツ鉱石が出てくるのが内心、怖かったです (苦笑)。

でも、今はキミオライトを超えるものが出てきてもいいんじゃないのと思えるようになりました。この宇

宙はウェーブ、振動波なので、同じ波長を持つもの同士が引き合っていて、テラヘルツ波も本人にふさわしいものがやってくる、という確信が持てたからです。

これは聖師様（出口王仁三郎）も同じことを言われていますが、だから、今はただ宇宙にお任せするだけ。そして、自分が地球に來た魂の目的を果たしていくだけです。

目崎 ちなみに、キミオライトのテラヘルツ波は何年くらい放射し続けるか、第三者の方にフーチで確認してもらったところ、「100年」でイエス、「500年」でもイエスと出ました。

櫻井先生に最初につくっていただいたテラヘルツシートのエネルギーパワーの数値も同じようにフーチで調べたら、「10の130乗キロワット以上ある」の時点でイエスと反応し、さらに、1150℃で焼いたセラミックの場合は、「10の5000乗キロワット以上ある」のところでイエスの反応でした。つまり、高熱を加えることでよりパワーアップしている。

櫻井 そうですね。焼くとテラヘルツ鉱石のエネルギーが高まります。

目崎 それと、遠隔セラピーの際に、氣を送る前と送った後では受けた人のソマチッドが増えたり、活性化することがわかっています。そのために数十万円もする専用の顕微鏡を

買ったんですが、それを使って血液中の変化を見れば一目瞭然いちもくりようぜんなんです。

血液中のソマチッドがヒーリングによって変化した！

櫻井 ガストン・ネサン氏が開発したものと同じ精度の顕微鏡を使ってソマチッドの変化を確認することで、遠隔セラピーの効果が視覚的にもわかるわけですね。

目崎さんがヒーリングをすると、相手のソマチッドが元気になる。それが一目でわかればより説得力が高まりますね。

目崎 はい。まず施術をする前に、相手の方の血液を顕微鏡で見ます。病気がちな人はほとんど血液がドロドロになっています。

次に、相手の身体に触れることなく、「○○○さんの免疫を高め、自然治癒力を高め、細胞よ正常に戻りたまえ」と祈ります。

その後、再び血液を顕微鏡で確認すると、ソマチッドが増えたり、活性化していて、血液の状態もサラサラに変わります。

その画像は、私どものホームページでも見られますし、上部一馬さんの著書『超微小知